

What is KIKIGAKI?

Q1. 聞き書き甲子園とは？

日本は、面積の約7割を森林が占め、周囲を海に囲まれています。そして地域ごとに異なる気候や風土、文化、暮らしがあります。

聞き書き甲子園は、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・海の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

高校生は、名人が働く仕事場を訪ね、先人から受け継いできた仕事や生き方について学びます。名人との対話は録音し、すべて書き起こして作品に仕上げます。その過程で高校生は単に知識だけではなく、名人の生きる姿勢に学び、自身の将来や進路について考えるようになります。

名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心。そこには、これからの持続可能な社会をつくるヒントがあるのかもしれない。



Q2. 「聞き書き」って何？

「聞き書き」の基本は、「聞く」というコミュニケーションです。高校生は、名人と一対一で出会い、インタビューをします。二人の対話は録音し、一字一句、書き起こします。書き起こした文章は、名人の語り口を生かしながら整理し、名人の一人語りの文体にまとめるのです。その過程で高校生は、名人の言葉を何度も繰り返し、反芻します。

ある高校生は言いました。
「名人の話は、いつの間にか自分が言いたいこと（伝えたいこと）になった」
名人が語る仕事や、名人が暮らす地域のことは、高校生にとっては、はじめは「他人ごと」です。しかし、作品をまとめる過程で、名人への共感や敬意とともに「自分ごと」に変わります。その結果、高校生と名人は、本当の祖父母と孫のような深い絆を育みます。

Q3. 聞き書き甲子園に参加すると、どんな変化があるの？



視野が広がる

名人の仕事場を訪ね、現場を見て、歩き、話を聞く。その技や知恵を学び、多様な生き方や働き方を知ることで、知識や視野がぐんと広がります。



自分と向き合う

名人との対話を何度も反芻し、その人生としつかり向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。



未来をつくるヒントを得る

全国から参加する仲間と名人、さらに高校生をサポートしてくれる卒業生の先輩たち。「聞き書き」での出会いは、自分の未来を考えるヒントになります。

聞き書き甲子園は、2002年(平成14年)に始まりました。参加者の累計は、もうすぐ2000人になります。これまでに参加した高校生は、全国の仲間たちや名人との出会いから、新たな一歩を踏み出しています。

聞き書き甲子園をもっと知るための「6つの質問」

Q4. 名人ってどんな人？

名人は、森・川・海の仕事に長年従事する中で、先人の知恵や技、心を受け継ぐ人々です。その職種は、樵(きこり)、炭焼き、木工職人、大工、漁師、海女など、さまざまです。「聞き書き甲子園」では、高校生の受け入れに協力する市町村から推薦いただいた名人に一対一で「聞き書き」します。



Q5. どの地域の名人に、「聞き書き」するの？

第18回開催(2019年度)より、全国の高校生の受け入れと地域の名人の推薦に協力いただく市町村(地域)を、毎年公募し、実施することになりました。高校生は、それぞれの地域から推薦いただいた森・川・海の名人を訪ね、「聞き書き」します。



【本年度の受け入れ地域】山形県酒田市(飛島) / 山形県飯豊町 / 茨城県大子町 / 新潟県柏崎市 / 福井県小浜市 / 愛知県豊根村 / 三重県志摩市 / 奈良県川上村 / 山口県下関市 / 徳島県神山町 / 大分県国東半島宇佐地域(豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町) / 宮崎県都城市

Q6. 「聞き書き」について、もっと知るには？

BOOKS



聞き書き作品集

高校生の聞き書き作品は、年度ごとに冊子にまとめています。購入を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

MOVIE



映画「森聞き」

「聞き書き甲子園」に参加した4人の高校生と名人のドキュメンタリー映画です。上映を希望される方には、有料で貸し出しています。

WEB



聞き書き甲子園公式サイト
<https://www.kikigaki.net>

「聞き書きの本棚」では、高校生や名人に関するエピソードとともに、これまでの聞き書き作品を紹介しています。月に一回、更新しています。

聞き書き電子図書館

<http://lib.ruralnet.or.jp/mori/>

過去の作品と名人のプロフィールを検索し、閲覧することができます。作品の全文をご覧いただくには、会員登録が必要です。

18th 聞き書き甲子園 参加申込書

【参加資格】高校生 【募集人数】80人 【応募〆切】2019年6月24日(月)必着

【参加条件】事前研修に参加できること。また、聞き書き作品を期日までに提出すること。 * 選考結果は7月末までに郵送で通知します。

【参加費用】無料 * 事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します。

【応募方法】参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局まで郵送してください。

【表彰】農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、ファミリーマート特別賞等

【お申し込み・お問い合わせ先】〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301
聞き書き甲子園実行委員会事務局 (NPO法人 共存の森ネットワーク)
TEL: 03-6432-6580 / FAX: 03-6432-6590 / E-mail: contact@kikigaki.net

聞き書き甲子園ウェブサイト
からも応募できます。
<https://www.kikigaki.net>



フリガナ			
氏名			
年齢	歳(西暦 年 月 日 生まれ)	性別	男 女
住所	〒()	本人携帯番号	()
E-mail			

フリガナ			
高校名			
高校所在地	〒()	電話番号	()
フリガナ			
担当教員			

※緊急時等に事務局と高校生との連絡・調整をしていただく場合があります。

交通手段	自宅 →
自宅～東京駅、または羽田空港まで	→ 東京駅、または羽田空港

※自宅から東京駅または羽田空港までの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)を全てご記入ください。ご記入いただいた情報をもとに、8月11～14日の研修参加チケットを手配します。

保護者氏名			
住所	〒()	ご自宅電話番号	()

※「保護者氏名」欄に押印がない場合は、受理できません。また、「保護者氏名」欄は、原則として保護者本人がご記入ください。
※住所は参加者の連絡先と異なる場合に記入してください。

自己PR	あなたの長所や経験、特技、将来の夢などを書いてください。		
------	------------------------------	--	--



18th 聞き書き甲子園

名人に会い、自然や文化、暮らしに触れる。集まれ、高校生。

KIKIGAKI

【主催】聞き書き甲子園実行委員会(農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO 法人 共存の森ネットワーク)【基金協力・企業寄付】株式会社ファミリーマート【助成】公益財団法人日本財団【協賛・協力】トヨタ自動車株式会社、一般財団法人環境文化創造研究所、公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、株式会社長塚電話工業所、株式会社トシホ、京王電鉄株式会社、株式会社ティムコ、公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、全国過疎地域自立促進連盟、NPO法人「日本で最も美しい村」連合



FamilyMart

ファミリーマートは「夢の掛け橋基金」を通じて、この活動を応援しています。



KIKIGAKI



発行者：聞き書き甲子園実行委員会

聞き書き壁新聞2019

https://www.kikigaki.net

発行日：2019年5月

取材先は全国に広がる12の地域

2019年度の受け入れ地域



18th 聞き書き甲子園

第18回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事場を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国12の地域で暮らす名人たち。その仕事は、樵、炭焼き、木工職人、大工、漁師、海女など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、先人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントがつまっているはず。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？

名人に会い、自然や文化、暮らしに触れる。



聞き書き甲子園の1年

6月24日まで応募する



参加者に選ばれた！

8月11～14日 研修(東京)

研修(東京)

OB・OGの大学生たちが聞き書きのコツを教えてください。最初は緊張したけど全国に友達ができたよ！



名人にアポを取る



9月 取材をする①

取材をする②



10月 書き起こす



録音した名人の言葉を全部書き起こしていきます。

12月 作品にまとめる



3月20～22日 フォーラム(東京)



お世話になった地域の人々が、東京まで発表を聞きに来てくれた。

冊子になる



「聞き書き」作品が冊子になります。名人は喜んでくれるかな？

名人のところにまた訪ねていきたいな。



聞き書き抜粋

森をつくる椎茸

【森の名人】黒木工(椎茸栽培・神奈川県相模原市) 【聞き手】鈴木美樹(栃木県立宇都宮白楊高等学校2年)

自然の神秘

ある時に山に行ってみると、椎茸の胞子が一面に飛んで山の中に霧がかかったようになってしまう。今までの人生で2、3回ぐらしか見たことはないけど、それはそれは見事で、めったに味わえない喜びだね。そして春先の最盛期の山、どの木からも椎茸がいつぱい発生している、そういう姿を見るとやってきた生きがいってのを感じるね。

長年の経験

椎茸の栽培方法っていうのは、原木栽培と菌床栽培があるのね。原木栽培は乾燥用主体に山の中の自然栽培と、主に生食用にハウス内で栽培する方法がある。原木栽培ってのは木を伐って仕込まなければ販売にならない。だいたい1年間に3〜4反歩の森林が必要になってくる。最初に植えた苗木の伐期が来るのが18〜20年くらい。1回伐って切株

参加者の声



「1たす1は2ではなく、4に」 研究で、同年代の友達と仲良くなるために自分から声をかけて、お互いの学校や知らない世界を知ることができました。(山形県 Yさん)

集まれ、高校生。

【募集内容】●参加資格 高校生 ●募集人数 80人 ●参加条件 事前研修に参加できること。また、聞き書き作品を期日までに提出すること。●参加費 無料(事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します) ●応募方法 参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局までお送りください。



自然の恵み

じっと魚を待っているとね、自然が私に教えてくれるときがある。ふっと頭に浮かぶのね、「こういう潮のとき、魚が釣れる」「あっちに魚がいる」って。自然が教えてくれていることに、今の若い人たちは、気づかないのかな、って思う。昔の機械も何も無かった時代にね、自然と対話、理解して、たくさん魚を釣ろうとした私のような世代しかもってない感覚かな。

おもな仕事

漁師の朝は早い。私は5時半くらいに船に行くと、いろいろ準備する。燃料入れたりとかね。6時には出航。他の漁師もそれくらいの時間に出てると思うよ。朝の方がね、魚の食いがよくて、たくさん釣れるから。でも、ほんとには仕事をすると時間とか日って決まっちゃう。やっぱり天気とか潮の流れに左右される仕事だもんね。だから天気は欠か

「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

ファミリーマートは、2006年より店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を通じ、子どもたちと地球に豊かな未来を残すための活動をNGO/NPOと取り組んでいます。国内ファミリーマート全店で実施している店頭募金は、株式会社ファミリーマートからの企業寄付と併せて各団体へ寄付されています。その一部が公益財団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動に役立てられています。



FamilyMart